

平成29年度共同研究「企業の教材開発に対する技術支援」の最終仕上げとして「技術研修会」実施する！！

平成29年4月から生産技術科 黒木 猛教授を中心に、平成29年度共同研究「企業の教材開発に対する技術支援」を実施しています。九州職業能力開発大学校では、福岡県を中心とした企業様と装置開発や人材育成に関する様々な共同研究を実施しています。その一環として北九州市在住の企業様と人材育成を目的とした教材開発をしています。

技術研修会の目的：共同研究実施者による「人材育成の実践」

技術研修会の内容：開発した教材を用いた「技能検定数値制御フライス盤技能検定受験の指導」

技術研修会の日時：平成30年1月27日（土）、2月3日（土）、10日（土）

技術研修会実施メンバー：大庭英利(安川マニュファクチャリング㈱ 八幡カンパニー)

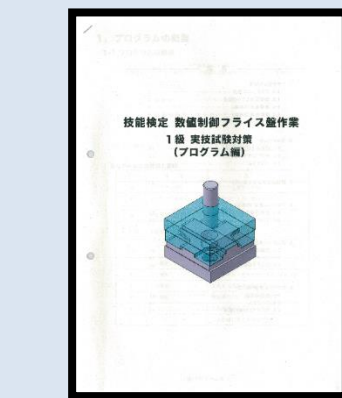
福原祥雅、宮崎大和、黒木猛、楠元智久、八崎透(九州能開大)

技術研修会参加者：10名(企業：5名 九州職能大職員4名 九州職能大学生1名)

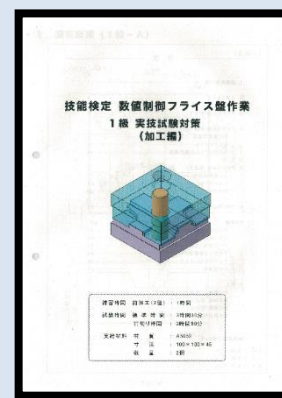
「技術研修会」では、共同研究の集大成として企業側の担当者を中心に「開発した教材」を用いて機械加工技術者に対する「人材育成」を実施しました。(文責 八崎)

技術研修会計画書					
九州職業能力開発大学校					
コース名	数値制御フライス盤高技能技術(技能検定数値制御フライス盤)				
カリキュラム等との関係	受講科目	円	定員	10人	
新規に開拓する分野	実施場所	G棟			
開 講 科 名	生産技術科	K棟			
開 講 対 象 者	機械加工作業に専事する機械技術者				
受講者持参品	作業服、安全靴、安全眼鏡、帽子、筆記用具、電卓				
コース内容(金費で10文字以内)	平成29年度共同研究「数値制御フライス盤高技能技術」の成果として開発した教材を用いた人材育成(技術研修会)の実施。今回は、技能検定数値制御フライス盤を題材にする。				
月/日(曜日)	開講時間	単科時間	教科書の単元	内 容	担当
1/27(土)	1時	0.5	1. 概要	(1) 研修の目的 (2) 専門能力の確認 (3) 安全上の留意事項	福原
1/27(土)	1時	2	2. プログラムの概要	(1) プログラムの構成 (2) 接続点とワーク原点(G44の教定方法) (3) 連携機能(G機能)Gコード全般、オフセット(工具径補正、工具長補正) (4) 補助機能(機能)1軸～5軸 (5) 固定サイクル(動作、指令、メタデータ)	福原
1/27(土)	1時	2.5	3. プログラムの例	(1) 部品および工具リストの確認 (2) サブプログラム (3) プログラム (4) 加工終了時 (5) 連携機能 (6) 連携機能(軸形状) (7) 連携機能(穴位置)	福原
2/10(土)	1時	15	4. 加工手順のプログラムおよび加工	(1) 前駆段階および工具リストの確認 (2) プログラム例(新高度) (3) プログラム例(新高度2) (4) 前加工 (5) 本加工	大庭
2/10(土)	1時	0.5	4. 総括	(1) 概要に関する質疑応答 (2) 総括討論	宮崎
2/10(土)	1時	0.5	5. まとめ	(1) 総括・評価	宮崎
使用教材等	数値制御フライス盤、データ入力装置、各種切削工具、測定機器				単科時間合計 3.5 H 長技時間合計 17.5 H
参考テキスト等	技能検定数値制御フライス盤作業2級実技試験対策(プログラム編) 技能検定数値制御フライス盤作業2級実技試験対策(加工編)				合計 21 H (準備時間合計) 4 H

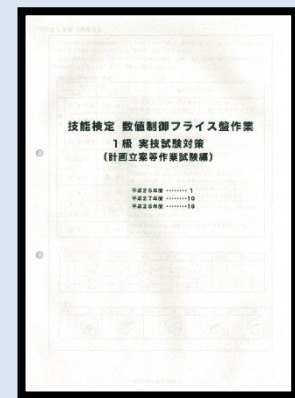
「技術研修会」実施計画



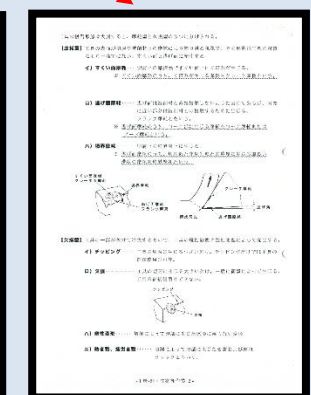
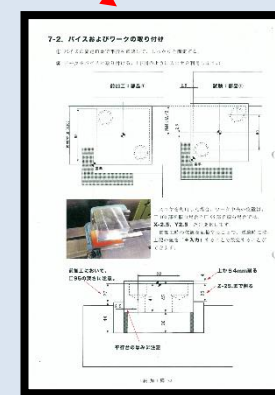
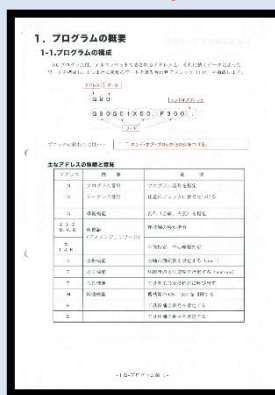
①プログラム編



②加工編



③作業試験編



開発した教材の例



福原祥雅講師による講義



大庭英利氏による機械加工指導



黒木猛教授のアドバイス